

彦根市とアナーバーの姉妹都市提携 50 周年を祝して

彦根・アナーバー姉妹都市提携 50 周年を祝う記念式典が 9 月 21 日（土）にアナーバーの Cobblestone Farm にて開催され、酒井由紀在デトロイト総領事館首席領事、クリストファー・テイラーアナーバー市長をはじめ、約 100 名の関係者らが出席し、両市のこれまでの交流の歴史を振り返るとともに、今後、ますます交流の輪が発展していくことを祈念しました。彦根市からは市長の代理として、日本のご当地キャラブームを牽引している”ひこにゃん”が出席。酒井首席領事、テイラー市長とともに記念植樹を行うなど、交流の懸け橋としての役割を果たしました。



テイラー市長、酒井首席領事と植樹するひこにゃん

式典ではテイラー市長から「老いも若きも市民全員が、海の向こうでたくさんの友人が暮らす都市があることを知っています。我々のこの交流は、平和という本質的価値観に基づき、先人から受け継がれてきた互いに対する敬愛を礎として築かれてきました。この交流の物語に市長としてささやかな役割が果たせることに感謝し、ますますの発展に尽力していきたい。」と先人たちへの感謝とともに未来に向けたメッセージが祝辞として参加者に送られました。

姉妹都市協定提携 50 周年を記念してアナーバーを訪れたひこにゃんは、滞在中にミシガン大学日本研究センター主催の記念講演会（講演者：テイラー市長「アナーバー・彦根の姉妹都市交流の歴史について」）や地元の公立小学校や図書館を訪問。美しいアナーバーの地で趣味の散歩を満喫し、またたくさんの方々との充実したふれあいに大変満足した様子で彦根城に帰っていった（彦根市シティプロモーション推進課職員談）とのことです。



写真提供：彦根市

アナーバーの小学生たちもひこにゃんに大興奮！！



写真提供：彦根市

全米一の大きさを誇るミシガン大学スタジアム
The Big House で趣味の散歩を満喫

アナーバーと彦根市は、1968年にミシガン州・滋賀県の姉妹県州協定締結を契機とし、翌1969年に大学のある街という共通のつながりから、両市間で姉妹都市協定を締結しました。これまでの半世紀の間、友好親善使節団の相互訪問、音楽等を通じた文化交流、教員や学生の相互派遣による教育交流など、幅広い分野での姉妹都市交流を推進しています。特に昨年（2018年）に事業開始から40年を迎えた中高生相互交流事業には、これまでに両市間で延べ800名以上が派遣されるなど、両市間のみならず日米間での文化・教育の相互理解に大きな役割を果たしています。

なお、テイラー市長は8月に滋賀・ミシガン友好交流使節団の一員として初来日。もちろん初滋賀、初琵琶湖。大久保貴彦根市長宅でホームステイをされながら、滋賀・彦根の魅力を十分に堪能されました。また、滞在中は彦根市で開催された姉妹都市提携50年記念式典にて、これまでの交流活動の継続と新たな交流活動の展開に努力を惜しまない旨を確約する共同宣言書に署名されました。



写真提供：彦根市

滋賀・ミシガン友好交流使節団によるJCMU訪問



写真提供：彦根市

共同宣言書に署名する両市長

彦根市はアナーバーとの姉妹都市というだけでなく、ミシガン・滋賀姉妹県州プログラムとして実施されているJCMUプログラム*の受入施設がある地でもあり、ミシガン州から滋賀へ留学した学生さんたちにとってはたいへん思い出深い地となっています。

※JCMUプログラム：Japan Center for Michigan Universities（ミシガン州立大学連合日本センター）と滋賀県が共同運営するプログラム。JCMU彦根センターで主にミシガン州内にある15の州立大学からの留学生を受け入れ、日本語や日本文化を学ぶ講座やインターンシップやホームステイの機会の提供を行っています。地域の方々との交流活動も開催されていますので、ぜひチェックしてみてください。

Website： <https://www.jcmu.net/>